



# 日本獣医師会学会関係情報



## 日本産業動物獣医学会・日本小動物獣医学会・日本獣医公衆衛生学会

### ----- 日本獣医師会学会からのお知らせ -----

#### ☆平成 26 年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会（岡山）盛會に終わる

平成 26 年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会（岡山）は、平成 27 年 2 月 13 日（金）～ 15 日（日）の 3 日間、岡山県獣医師会の共催により、岡山市・岡山コンベンションセンター、岡山国際交流センター、岡山全日空ホテル、ホテルグランヴィア岡山において開催され、全国から獣医師や獣医学系大学の学生をはじめ動物看護職等関係者が参加したほか、一般市民公開シンポジウムは地元岡山県民を中心に多くの参加者を得て、成功裏に終了した。

本大会では例年にも増してプログラム数が増えて充実度を増したが、特に、(公社)日本獣医師会の協力をいただき開催したシンポジウム「ダニが媒介する感染症の人への健康被害」や、科学研究費の補助を得て開催した国際シンポジウム「栄養、代謝、免疫並びに遺伝学の応用による乳牛の疾病予防と生産性向上のためのグローバル・アプローチ」、さらに、市民公開シンポジウム「家畜としてのミツバチとその効用」のほか、「知っておきたい感染症 ～エボラ出血熱と鳥インフルエンザ」、「イヌ・ネコの予防医療 ～動物たちへの思いやりとして～」、「エキノコックスの疫学と人の感染症例」、「動物の飼育方法～かけがえのない家族の一員として～」、「食の安全を守る獣医師 —管理獣医師を知っていますか?」、「学校飼育動物の教育的意義」の市民公開プログラムでは、地元市民を含む多数の参加者を得て大変好評であった。

また、本年次大会では昨年度に引き続き(公社)日本獣医学会の企画協力をいただき、シンポジウム「希少動物の保全に向けた獣医師の取り組み ～ツシマヤマネコを例に」及び「慢性感染症の対策に今後何が必要か」を開催したほか、(公社)中央畜産会の協力によるシンポジウム「我が国の農場 HACCP の取り組みの現状」、(公社)日本装削

蹄協会の協力による教育講演「牛削蹄の効果と蹄病予防」、(一社)日本小動物獣医師会の協力による特別講演「小動物骨折外科の基本原則と最新情報」、(公社)日本動物病院協会の協力によるシンポジウム「家庭犬の飼育頭数減少化を考える!」、日本ウマ科学会の協力によるシンポジウム「馬の獣医学 ～現状と課題そして展望～」を開催するなど、各協力団体による企画が行われ、聴講者が重要なテーマに真剣に耳を傾けた。

さらに、大会 2 日目には歓迎交流会がホテルグランヴィア岡山に場所を移して盛大に執り行われた。本交流会では、本年次大会の共催であり歓迎交流会主催の岡山県獣医師会の三宅忠篤会長から歓迎交流会主催者挨拶が行われ、続いて、藏内勇夫日本獣医師会会長から学会年次大会主催者挨拶が行われた後、伊原木隆太岡山県知事、大森雅夫岡山市長、阿部俊子衆議院議員、逢沢一郎衆議院議員、笠井英夫日本医師会常任理事（日本医師会会長代理）から祝辞をいただき、石川 紘岡山県医師会長の音頭により乾杯を行った。

このほか、会期中には学会幹事会議、各学会幹事懇談会等も開催されたほか、平成 26 年度獣医学術賞の発表と授与が行われ、日本獣医師会会長ならびに本賞の協賛会社（日本全薬工業(株)、共立製薬(株)、日本ハム(株)）から受賞者の代表者に賞の授与が行われた（受賞者等については本号 151～152 頁に掲載）。

なお、平成 27 年度の獣医学術学会年次大会は、秋田県獣医師会の共催により、平成 28 年 2 月 26 日（金）～ 28 日（日）の 3 日間、秋田市の秋田キャッスルホテル、秋田アトリオン及びにぎわい交流館 AU において開催予定である。